

食前のことば

手話表現パンフレット食事のことば

原文 食事のことば
表現 食事／言葉 [かぎかっこ]



下記参照



曲げた両手人差指を上下に置き、「」を示す

[代表者]
おお

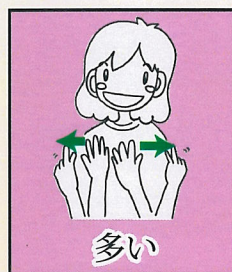
原文

多くのいのちと、

みなさまのおかげにより、

このごちそうをめぐられました。

表現



多い



いのち



みなさま



助けられる



これ



食事



いただく

動作

両手の親指から順に折りながら左右へ引き離して握る

右拳を左胸にあてる

右手掌を下に向けて水平に半円を描く

立てた左手親指の甲側を右手掌で手前へ2回たたく

食事を右手で指す

掌を上に向けた左手から右手2指を口へ運ぶ

掌を上に向け、揃えて出した両手を手前に引き寄せる

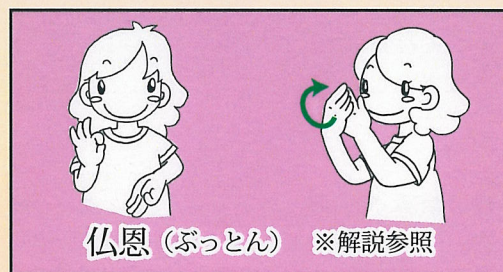
[全員で]

原文

深くご恩を喜び、

ありがたくいただきます。

表現



仏恩 (ぶつとん)

※解説参照



喜ぶ (表情豊かに)



ありがとう



合掌

動作

阿弥陀仏の印

手の甲を外側に向け、上の方で膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を回す

湾曲した両手の指先を胸に向け、交互に上下に動かす

左手甲に小指側を直角にのせた右手を上げながら頭を下げる

<裏面に食後のことば>

発行：浄土真宗本願寺派 社会福祉推進協議会

編集：手話表現研究専門部会

参考：浄土真宗本願寺派総合研究所ホームページ

<http://j-soken.jp/>

わたしたちの手話学習辞典

(財団法人 全日本ろうあ連盟出版局)

手話で表す仏教用語

(浄土真宗本願寺派 社会部)

食後のことば

[代表者]

原文 尊^{とうと}いおめぐみをおいしくいただき、

ますます御恩^{ご おん ほうしや}報謝につとめます。

	(V)	(V)							
表現	大切な	愛	おいしい	食べる	終わり	もっと	仏恩(ぶつとん) ※解説参照	感謝	努力する
動作	湾曲させた右手掌で左頬を軽くたたく(まわす)	膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を水平にまわす	右手掌で顎を左から右へ撫でる	掌を上に向けた左手から右手2指を口へ運ぶ	指を上に向けて開いた両手を同時に下しながら5指を閉じる	左手2指の親指の下につけた右手2指を上げ、左手人差指にのせる	阿弥陀仏の印	手の甲を外側に向け、上の方で膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を回す	左手掌にあてた右手人差指の指先をねじりながら前へ押し出す

[全員で]

原文 おかげで、ごちそうさまでした。

表現	助けられる	合掌
----	-------	----

動作 立てた左手親指の甲側を右手掌で手前へ2回たたく

<食前のことば解説>

わたしたちは、食べ物进行いただくことで、毎日を過ごしています。この食事には多くのいのちをいただいています。またこの食事がわたしの口に届くまでには、多くの方のご苦労もありました。

阿弥陀さまは、わたしたちが、多くのいのちと、みなさまのおかげによって、初めて生きることができているのだと、明らかにしてくださいました。

このご恩を思い、お食事を大切にいただきましょう。

<食後のことば解説>

お食事をいただいたわたしたちは、尊いおめぐみをいただきました。多くのいのちと食事を用意してくださった方々のご苦労を思い、そのおかげでいのちをいただいています。

いまここに、いのちあるわたしを、必ず救うと願い、支えてくださっているのが阿弥陀さまです。このご恩を思い、阿弥陀さまの願いに答えようと、精一杯に生きていきましょう。

※(V) は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。

<裏面に食前のことば>